

斗柄舎内部資料(SHIHI00103)

紫微斗数における飛星と方位への応用

2005/01/04

北斗柄

始めに

近年の台湾と香港での紫微斗数のブレイクには、技法上の大きな革新が背景にあった。それが飛星の技法である。飛星を用いることで紫微斗数の行運観法は十干の影響を取り入れることに成功し飛躍的に進歩した。

本論においては、紫微斗数における飛星の技法を簡単に概説し十二宮の中で移動の方位の意味を持つ兄弟宮と遷移宮からの飛星を使った個人別の吉方位の算出について述べる。

キーワード：紫微、斗数、飛星、十干、移動、方位、十二宮、兄弟宮、遷移宮、西洋占星術

飛星

本来、紫微斗数には十干化曜星という、生年干によって、化禄、化権、化科、化忌に変化する化曜星があり、八字の財官印の吉祥と忌神全般に対応していた。飛星はこの基準なる十干の範囲を生年干の他かからも可能とすることで、行運観法を進歩させることに成功した。飛星では以下の干を使って色々な判断を行う。

1. 大限宮や命宮の遁干から化曜星を振りなおして、本来、もしくは大限が支配する十年間においてどの宮に吉祥、凶兆があるかを判断する。
2. 歳運干から化曜星を振りなおして、1年の間どの宮に吉祥、凶兆があるかを判断する。
3. 十二宮各宮の遁干から化曜星を振りなおして、吉祥、凶兆のある時期を判断する。

特に行運観法で影響が大きかったのは3番目の技法で、紫微斗数を使った予測を大きく進歩させた。蛇足ではあるが化曜星の表を表1にしめす。

付言しておく、飛星法が研究されるに従って、化曜星そのものの見直しも行われ、現在のところ庚の化曜星については諸説あるらしい。表1にしめしたのは最も基本的な化曜星の表である。

表 1. 十干化曜星.

十干	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
化禄	廉貞	天機	天同	太陰	貪狼	武曲	太陽	巨門	天梁	破軍
化権	破軍	天梁	天機	天同	太陰	貪狼	武曲	太陽	紫微	巨門
化科	武曲	紫微	文昌	天機	右弼	天梁	太陰	文曲	左輔	太陰
化忌	太陽	太陰	廉貞	巨門	天機	文曲	天同	文昌	武曲	貪狼

方位への応用

中国占術においては、時間と空間が同一視されている。従って移動の意味を持つ宮の遁干からの飛星は、吉であれば吉の移動の方位をしめすことになる。

天機 平	紫微 廟		破軍 地
	鈴星 廟		陀羅 陷
天馬	天魁		
	耗 刑		
癸巳 福德宮	甲午 田宅宮	乙未 官禄宮	丙申 奴僕宮
七殺 廟	辛巳年十月十七日 申刻 女命 木三局		禄存
喜			
壬辰 父母宮			丁酉 遷移宮
太陽 廟(権)			廉貞 利
天梁 廟			天府 廟
天空			擎羊 廟
			鸞 姚
辛卯 命 宮			戊戌 疾厄宮
武曲 地	天同 不	貪狼 旺	太陰 廟
天相 廟	巨門 不(禄)	文曲 地(科)	火星 利
文昌 陷(忌)	左輔		
天鉞	右弼		
庚寅 兄弟宮	辛丑 夫妻宮	庚子 子女宮	己亥 財帛宮

例を挙げてみよう。上にしめしたのは内親王の敬宮様の命盤である。

十二宮で移動の意味を持つのは兄弟宮と遷移宮である。兄弟宮は西洋占星術の3室と対応していることから近距離の旅行の意味を持ち、遷移宮は同じく西洋占星術の9室と対応しているので、長距離の旅行や移転の意味を持っている。

兄弟宮の遁干は庚なので、化禄が太陽、化権が武曲、化科が太陰、化忌が天同である。太陽は卯、武曲は寅、太陰は亥、天同は丑にそれぞれある。従って近距離旅行や一泊の旅行に良いのは卯、寅、亥の方位で、丑への近距離旅行は避けねばならない。もっとも敬宮様は皇族なので近距離への一泊旅行をされることはまずないだろう。もし御学友のところにお泊りに行かれるなら化科の方位である亥の方位がよいだろう。

長距離の旅行では遷移宮の遁干が丁であることから、化禄が太陰、化権が天同、化科が天機、化忌が巨門となる。太陰は亥、天同は丑、天機は巳、巨門は丑にある。今のところ皇族としての御公務で外遊ということはないだろうが、御両親と一緒に海外に行かれる場合などは、丑の方位は避けた方がいいと判断できる。

この移動方位への応用はここでは触れないが、別の分野ですでにある飛星の応用を基にしている。紫微斗数は非常に個人的な術であり、紫微斗数から算出される個人の吉方と九星等からの万人向けの吉方を組み合わせることで、吉方位の効果を高めることは十分に可能であろうし、一般の方位術で方位の効果がはっきりしない場合、個人の吉方を考慮することで、方位効果の検証を精密なものとするのも可能だろう。